

磐城公論

行發日卅・日五十(回二)月每

福島縣石城郡平町字研町十九番地
編輯兼發行人 山田 綠 雨
印刷所 二葉印刷所
福島縣石城郡平町字研町十九番地
發行所 磐城公論社
電話四〇八番
廣告料 五號十二字詰一行五十錢
場所指定拾錢増
定價一部十錢 一年貳圓四十錢

△聲明
國家内外ノ現勢ヲ深觀シ、自家將來ノ大成ヲ願フシテ、不肖事本月一日ヲ期シテ斷然禁欲克己生活(殊ニ酒色禁斷)ニ入りマシマ。同時ニ中央進出計劃中デアリマス。
山田 綠 雨

第一次普選議會と議會人に與ふ!

(公開狀に代えて)

主幹 山田 綠 雨

光榮ある普選の政戦は、幾多の教訓と悲、喜劇をのこして終つた。そして、第一次の普選議會は、今や開會最中である。

田中首相をはじめとし、各閣僚、並びに政府與黨たる政友會とその一黨の諸黨人は、如何なる確信と抱負を以つて、又如何なる對議會方針と戦術を以つて、コノ光榮ある政治的劃期の普選第一次議會に見えんとする更に逆問す、民政黨の對策や如何? 世界列國環視の下に、千二百萬有權者諦觀の下に普選議會は、花々しく開かれた。

而も、今よりして、先見豫察せらるゝ一事は、衆議院に於ける議會内「理論鬭争の激烈化」である。更に憂慮に堪えざる一事は、與黨、野黨の理論鬭争最高潮に達する秋、感情の激發する所、冷靜なる理性を失ひ、街頭、泥酔の匹夫野人が常習慣行する下劣なる言論、野蠻なる暴

力的直接行動をなすが如き事なきかである。

かつての衆議院は、かゝる例證——議會の品位を低下し、神聖なる立法を冒瀆し、議員全體の不名譽となるが如き例證をもつた事あるは、未だに國民の記憶に新なるものがある。苟しくも、國民の選良、千二百萬有權者の代表として、言論自由の府たる立法院に參して、かゝる下劣野蠻なる言動を敢行するが如きは言語同斷、沙汰の限りである。

記者をして、無遠慮に率直に云はしむれば、大正末期より昭和にかけての帝國議會には、傾聴に價する一の雄辯なく、正義に立脚する公平公論なく、主義政策を以つて正々堂々の論陣を張り愛國的大義と立憲的公論に即する公明正大の政論なしと斷ずるものである。

犬養木堂が一片の孤城、國民黨を死守して奮戦した往年の議會を偲べば、犬養氏自身も亦吾れらも、實に感慨無量である。『政黨は、金が國士木堂をして、『政黨は、金が

なくては、やつてゆけぬ!』と長嘆せしめて、敵の軍門に降伏したる悲劇的心事は誰か涙なくして、き、得るものぞ!

政黨と利權、政治家と金錢問題が不可分事と相成つては、われら何をか云んやだ。

加之、神聖なる議會に於て、野卑なる言論と、暴力的直接行動をなすものあるに至つては、われらは『日本立憲政治の名において』之れを彈撃せざるを得ない。

第一次普選議會は開かれた。冀はくは、此の光榮ある議會をして日本憲政史を飾る精華たらしめよ。忝けなくも、

明治大帝陛下の御尊靈は、桃山御陵より此度の議會を御嚴監遊さる。議員諸君三千年來の光榮ある國史を追懷し、千二百萬有權者の熱烈なる期待を深觀し、而も卿等の背後には『清キ一票』を投じたる郷土幾萬の有權者が嚴重に卿等の行動を監視して居る。卿等は國際オリムピック

競場に立つたチャンピヨンの如く、愛國的大感激の精神を振起さして、昭和維新、光榮ある普選議會の公論壇頭に、決死的覺悟を以つて健闘せられん事を熱求する。

時事斷觀

△櫻花は萬葉を飾る。敷島してやまない。さはれ山頭の櫻花は咲いた。しばし、「春の子」となり櫻かざして、奈良、平安の古へを偲び優に床しい太胸を開いて、清新の大氣を呼吸しやうではナイカ? 歸らうではないか? 目を張つて、萬葉の櫻花を諦觀しやうではナイカ!! 府與黨も、在野黨も會々聲然の春を、心ゆくばかりマコトに結構至極な事だ徹底的に享樂しやうではナイカ!

現代人は、四苦、八苦千辛、萬苦に包圍攻撃されて居る。曰はく、世界苦、生活苦、曰はく、思想難、主義苦、鬭争苦、曰はく、戀愛苦、結婚難、曰はく、税金苦、勞働苦、就職難、入學難、失業苦、曰はく、何々、等々、深觀すれば現代は苦難地獄の觀があるではないか。

せめては、花下半日、月前半夜の詩的生活を許せ! せめては、草枕して蒼空を見入るだけの餘裕を興へよ!

現代の日本人は、餘りに苦み過ぎはしないか? 受難過多の結果は、女はヒステリック、男はヒコボンドリックになり、人心不安、思想渾沌、政局動搖、物肉鬭争、主義亂闘邪惡血戰の世相となる。毎日の新紙は世相の現實——世の中の有様を生々しい事實を以つて大衆讀者の直前に提供

「廣ク會議ヲ起シ、萬機公論ニ決スヘシ」
體して、政治家諸君が斯國斯民のために、丹心を披瀝して奉仕せらるゝ所なるが故に、われらは、政治家諸君に對して滿腔の敬意を表し、最大の感謝を捧ぐるも何々、等々、深觀すれば現代は苦難地獄の觀があるではないか。然り矣! 吾人は政治家諸君の報國の丹心に對して、無條件にて、斷然敬意と感謝を捧表するものだ。サリ乍ら、昨今の日本の政黨政治家諸君に對しては維新回天當時の志士仁人風的眞正政治家を思慕憧憬崇拜尊敬する程の「心の態度」を持つわけにいかない。現代人感奮なきがためか、黨人墮落せるがためか、敢えて各政黨々首諸君に新事を問ふ。卿等國民大衆の信頼と尊敬と崇拜の金のたふんと欲せば、一舉手

(二面へ續く)

振替貯金口座東京一〇九五六番
電話長九番一三九番

東都管見 (一)

先月廿九日、私は突如として、そらだ！ 全く突如として、六年ぶりで上野驛頭に姿を現はした。

「諸君！」と大見得を切る。私はコノすさまじいアトモスフイヤの中に感興豊かな政治劇の見物人となつて、スツカリ興奮してしまつた。

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

「諸君！」と大見得を切る。私はコノすさまじいアトモスフイヤの中に感興豊かな政治劇の見物人となつて、スツカリ興奮してしまつた。

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

年」政治家であつた。春風秋雨、十數年の長い「政黨生活」の苦勞は、マ、ザン／＼と明らかに兩將の

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

の東京」を眺めた。東京の電燈は流石に明るく、をして善美ならしむべく努

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

科學的組織的系統的に村政をして善美ならしむべく努

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

松嶺、濤聲交々訪後を繼ぎ、一意専心、郷土のために努力して居る。

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

江名町 漁獲高百何萬を算

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

廣 宣

私は東京に來た、そして見た。いろ／＼のものを。六年の久しい間、郷土のソイルの香に親しんで、スツカリ田舎者化した私に、は、めまぐるしい都の巷に投げ出され、私の心は或種の不安と焦燥に捉はれた。

これでは駄目だ、と感激して、私は「日本帝國も大丈夫だ、一番、私はインク」と上野ナソコニは、民政黨全國黨員懇親大會があるのだ。

民政黨系の「政治ファン」が、北海より、九州より集來した。血眼になつて、狂熱的氣分を以つて、愛黨の純情に燃えて、東西南北より集來したのだ。

熱血の地方黨人諸君は、晴れの檜舞臺に躍る名優の様にはなかつた。「黒髪の壯

平銀行頭取 山崎與三郎

元代議士 安島重三郎

釜屋商店主 諸橋久太郎

磐越銀行頭取 中野甲藏

東電平營業所所長 鈴木辰三郎

堀江工業株式會社 江口忠一
小田吉治
磐城銀行專務取締役 白井一郎
磐城水産株式會社 小野晋平
湯本町區會議員 比佐源造
工業商會 佐々木健一郎
好間軌道株式會社 山崎佐市郎
内鄉村々會議員 加藤丈夫
四家又一

衆生濟度の聖務を汚す

石城郡四倉町新義真言宗智去る三月十日學俊は年來のある小松學俊が事あらう

破戒僧小松學俊の乱行 (在四倉 公憤生投)

山派如來寺高野山支部住職知人なる平町猪狩某方に投に一夜の宿を請へ且つ神聖

れも之れが善導に努めつゝあるの折柄其善導すべき立場にある僧侶が斯くの如く

五戒を破り國法の禁を犯すとはそも何事であるか、之れ小松學俊一個の恥辱でな

豊間村

村役場は現代的様式の建考人の如きは郷土の寶とし物だ、ローマ三頭政治の如

片濱とその環境及人物管見

ナカ／＼に興趣多い、村役場は現代的様式の建考人の如きは郷土の寶とし物だ、ローマ三頭政治の如

豊間燈臺と沼ノ内辨才天として流布されてゐた寺寄附勸誘方を依頼したので他出せしめ、其虚に乗

沼ノ内辨才天 又古頻々として流布されてゐた寺寄附勸誘方を依頼したので他出せしめ、其虚に乗

衆生濟度の聖務を汚す

石城郡四倉町新義真言宗智去る三月十日學俊は年來のある小松學俊が事あらう

破戒僧小松學俊の乱行 (在四倉 公憤生投)

山派如來寺高野山支部住職知人なる平町猪狩某方に投に一夜の宿を請へ且つ神聖

れも之れが善導に努めつゝあるの折柄其善導すべき立場にある僧侶が斯くの如く

五戒を破り國法の禁を犯すとはそも何事であるか、之れ小松學俊一個の恥辱でな

豊間村

村役場は現代的様式の建考人の如きは郷土の寶とし物だ、ローマ三頭政治の如

片濱とその環境及人物管見

ナカ／＼に興趣多い、村役場は現代的様式の建考人の如きは郷土の寶とし物だ、ローマ三頭政治の如

豊間燈臺と沼ノ内辨才天として流布されてゐた寺寄附勸誘方を依頼したので他出せしめ、其虚に乗

沼ノ内辨才天 又古頻々として流布されてゐた寺寄附勸誘方を依頼したので他出せしめ、其虚に乗

平町公立學校長 懇話會	郡城石 第一區 小學校長會 第二區 小學校長會 第三區 小學校長會 第四區 小學校長會	磐城炭礦株式會社 入山炭採礦株式會社 小田炭礦株式會社 古河炭業株式會社	石城郡銀行組合 藝妓屋業組合 建築指物業組合 平三業理健組 平西洋料理業組合	平町四丁目 勢屋	平町研町 吉村製綿店 電話二五七番	平町四丁目 百澤商店	平町四丁目 時計店 電話三六三番	平町々會議員一同
----------------	---	---	--	----------	----------------------	------------	---------------------	----------

平町信用組合 電話六四一番	院長醫學博士 難波睦 主事 加澤忠治	磐城共濟病院 電話六四一番	平町大工町 多田井質店	平町仲町 河田梅吉商店	平町一丁目 平銃砲火藥店	平町二丁目 西村屋藥舖 電話三番	平町四丁目 關內藥舖 醫療藥品 工業藥品 有名賣藥 洋酒罐詰 染料塗料 藥劑士 關內榮助 電話四〇番電路(七キ) 振替仙臺六五六一六番	平町四丁目 柴田書店 電話二三四番	平町四丁目 鶴屋商店 電話一四〇番	平町字田町 高久病院 院長醫學士 高久忠 電話一三五
------------------	-----------------------	------------------	-------------	-------------	--------------	---------------------	--	----------------------	----------------------	----------------------------------

町倉杉原新伍 四倉會社銀行組合	町長 鈴木榮 大敷網事務所 郡司 白井三郎 丹野寬平 磐城海岸軌道株式會社 水野技藝女學校 二本松電氣株式會社 小名濱支店	町長 赤津兵衛 町會議員 赤津一 赤津酒造店 〔平支店 平館前 大黒屋〕 齋藤醫院 白米鶴ノ湯 坂本淺次郎	川部村々長 兒王萬平	好間村 村長 金成淺治 收入役 鈴木榮一
--------------------	--	---	------------	-------------------------

豐間村役場 村長 志賀兼吉 助役 鈴木藤次郎 收入役 鈴木清利	縣立回春園々長 醫學士 川井重之	大敷網事務所一同	豐間施業森林組合 理事 四家文吉 鈴木倉之助 遠藤惣三郎 遠藤嘉吉 遠藤仙右衛門 監事 四家丑吉 鈴木政次郎 橋本仁左衛門	江名町 町長 河野嘉藏 町會議員 吉田正雄	湯本信用無盡株式會社 湯本藝妓屋組合 湯本信用組合長 若松條助	◎以下次號
--	------------------	----------	---	--------------------------	---------------------------------------	-------